



2023年6月6日

各 位

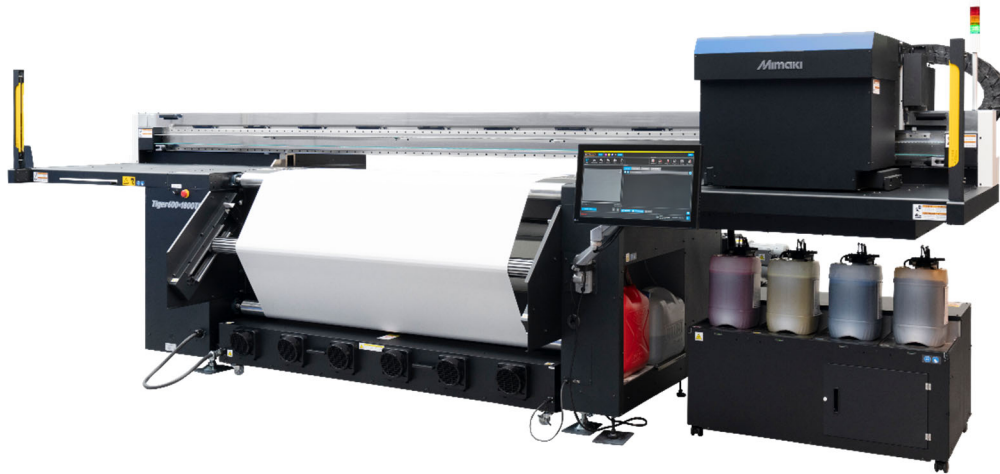
株式会社ミマキエンジニアリング
代表取締役社長 池田和明
(コード番号：6638 東証プライム)
問い合わせ先 常務取締役経営企画本部長 清水浩司
電話番号：0268-80-0058

アナログ捺染のデジタル化を推進する生産性当社最速の昇華転写用プリンタ
「Tiger600-1800TS」発表に関するお知らせ

当社は、テキスタイル向けRoll to Roll方式昇華転写用インクジェットプリンタ「Tiger600-1800TS」を、2023年6月に開催されるITMA（開催地／イタリア・ミラノ）で世界初披露し、2023年秋から販売を開始しますので、別紙のとおりお知らせいたします。

以上

アナログ捺染のデジタル化を推進する
生産性当社最速の昇華転写用プリンタ「Tiger600-1800TS」を発表
～デジタル捺染の時代へ、持続可能なテキスタイル産業へ～



産業用インクジェットプリンタ、カッティングプロッタ、3Dプリンタを手掛ける株式会社ミマキエンジニアリング（本社／長野県東御市、代表取締役社長／池田 和明）は、テキスタイル向け Roll to Roll 方式昇華転写用インクジェットプリンタ「Tiger600-1800TS」を、2023年6月に開催される ITMA（開催地／イタリア・ミラノ）で世界初披露し、2023年秋から販売を開始します。生産性当社最速の昇華転写プリンタによる捺染市場のデジタル化を推進します。

現在、世界の捺染製品の大部分は一部の生産国に集約され、アナログ印刷で生産されています。アナログ捺染は工程が煩雑で生産プロセスが長期に渡る上に、消費国への出荷リードタイムが長くなります。そのため消費国のアパレルブランドや小売業は欠品による販売機会損失を防ぐために在庫保持する必要があり、売れ残りのリスクと廃棄処分により発生するコストや環境負荷への影響があります。またアナログ捺染はインクの調合や印刷版の洗浄のため化学物質に触れる頻度が高く、作業者の安全性の課題があります。

一方、近年テキスタイル業界及びアパレル業界ではデザインや色使いの多様化により、色数に合わせた印刷版やインクの調合を必要としないデジタル捺染技術が求められています。デジタル捺染は工程が少なく設備規模も比較的小型のため、需要変動に合わせ必要なものを必要な分だけ消費地に近い場所で生産でき、リードタイム短縮により在庫リスクが削減できます。また印刷版の洗浄廃水が無くなることでも環境負荷の削減に貢献します。

この度発表する「Tiger600-1800TS」は、新たに採用した高速駆動のプリントヘッドと当社独自の画質技術により、最大印刷速度 550 m²/h（従来機比 143%）に向上しました。印刷速度向上により、捺染市場のデジタル化をさらに推進します。

また、従来機では転写紙を装置の後方に装着し、印字後に装置の前方にて巻き取りする構造でしたが、本機は装置後方にて巻き取りも行う構造としたことで、装置奥行サイズが約半分になりました。装置の設置スペースが小さくなることにより、お客様が複数台導入を検討しやすくなり、さらなる需要変動への対応と生産量向上に貢献します。

さらに、「Tiger600-1800TS」に搭載される昇華転写インク MLSb510 は bluesign[®] APPROVED を 2023年6月に予定しています。これにより、当製品が世界最高レベルの消費者や労働者の安全、環境への配慮された製品で

あることを証明し、テキスタイル産業の持続に貢献します。

*bluesign(ブルーサイン)：繊維・アパレル業界において、持続可能なサプライチェーンを経た製品に付与される認証のひとつ。スイスに拠点を置くブルーサイン・テクノロジーが運営を行っている

「Tiger600-1800TS」は、2023年秋の販売開始を予定しており、テキスタイル・アパレル用途に年間200台（全世界）の販売を見込んでいます。

本体価格は1,500万円（税別）/1,650万円（税込）となっております。

ミマキエンジニアリングでは、『新しさと違い』を経営ビジョンに掲げ、常に新たな技術革新を目指し、お客様が求める「美しさと速さ」の実現を追求し続けてまいります。

◎展示会出展概要

名称：ITMA 2023（国際繊維機械展示会）

会期：2023年6月8日（木）～6月14日（水）

会場：Fiera Milano RHO（イタリア・ミラノ）

ブース：H7-C304

◎主な特長

1.最大印刷速度 550 m²/h（当社従来機比 143%アップ）

従来機である「Tiger-1800B MkIII」の最大印刷速度 385 m²/h に対して、「Tiger600-1800TS」の最大印刷速度は 550 m²/h と、143%向上しました。当社最高の生産性を誇る昇華転写用プリンタにより、アナログ捺染市場のデジタル化をさらに促進します。

2.設置スペースが約半分

転写紙を装置後方に装着し、印字後の巻き取りも装置後方で行う構造のため、装置奥行を従来機の約半分に設計したことで設置スペースが小さくなりました。これによりさらにお客様が導入・増設しやすくなり、お客様のデジタル捺染ビジネスの拡大に貢献します。

3. bluesign® APPROVED 予定（2023年6月）

当製品に使用される昇華染料インク MLSb510 が世界最高レベルの消費者や労働者の安全、環境への配慮された製品であることを証明され、テキスタイル産業の持続に貢献します。

4.メンテナンス工数・タイムロスの削減

印字中のインクタンク交換時、装置の動作を停止せずに交換作業が可能のため、タイムロスがありません。また、ベルト搬送による転写紙搬送方式ではなくロール搬送を採用しているため、ベルトの表面に塗布する地張り剤が不要になったことで張り替えのためのメンテナンスが不要です。

製品仕様

項目	Tiger600-1800TS
印刷速度	最大速度：550 m ² /h
ヘッド数	8基(2スタガ×4インライン)
インクセット	昇華染料インク MLSb510 / 4色(BL/M/Y/K)
インク容量	10kg インクタンク
最大作図幅	1,850mm
最大メディアセット幅	1,900mm
最大メディア厚み	5.0mm 以下(ヘッドギャップ：1.5mm～3.0mm)
取付可能ロール仕様	300kg 以下 もしくは Φ600mm 以下 のいずれか小さい方
本体操作装置	MPC for Tiger600 (液晶タッチパネルモニター)
外部接続インターフェイス	Ethernet 10GB-T, USB3.1・USB2.0 (リムーバブルディスク経由)
電源仕様	AC3相4線 380-415±5% 50/60Hz±1%、30A 以下
動作環境	使用可能温度：20～30°C, 湿度：35～64%RH(結露なきこと)
マシン外形寸法	5,350mm x 3,300mm x 1,920mm
マシン重量	1,620kg
乾燥ヒーター	本体下部に温風式ヒーターを設置
RIP ソフト	TxLink4 Standard / TxLink4 Professional

※記載の仕様、デザイン、寸法などは、技術改善等により予告なく変更する場合があります

株式会社ミマキエンジニアリングについて

ミマキエンジニアリングは、産業用インクジェットプリンタ、カッティングプロッタ、3Dプリンタおよびそのインク、ソフトウェアの開発・製造・販売・保守を行っています。サイングラフィックス、インダストリアルプロダクト、テキスタイルアパレルの市場に向け、プリント工程のトータルソリューションを提供することにより、お客様に常に「新しさと違い」をお届けするイノベーターを目指しています。

企業・IR サイト：<https://ir.mimaki.com/>

製品サイト：<https://japan.mimaki.com/>

お問い合わせ先

◎報道関係者様からのお問い合わせ先

株式会社ミマキエンジニアリング

営業本部グローバルマーケティング部

インサイドセールスグループ

長野県東御市滋野乙 1628 - 1

TEL：0268-80-0078 / FAX：0268-80-0041

MAIL：press@mimaki.com

◎一般のお客様からのお問い合わせ先

WEB サイト問い合わせフォームより

お問い合わせください。

<https://japan.mimaki.com/inquiry/negotiation/>